

精神医学：気分障害

40-098 うつ病に関連がないのはどれか。

1. 何をするのもおっくうになる。... 意欲低下
2. 記憶力が悪くなったと感じる。... 思考制止
3. 些細なことの決断に時間がかかる。...
4. 理由もなく周囲が不気味に感じる。妄想気分、統合失調症の特徴
5. 自分の過ちでみんなに迷惑をかけたと思込む。... 罪業妄想

41-097 うつ病では現れにくい訴えはどれか。

1. 「取り返しのつかない過ちを犯してしまった」... 罪業妄想
2. 「不治の病にかかってしまい、もう死ぬしかない」... 心気妄想
3. 「からだのだるくてしかたがない。今までの罪だ」... 罪業妄想
4. 「まわりから死ぬと言ってくる。食事に毒を盛られている」... 被害妄想、統合失調症の特徴
5. 「お金がなくなってしまい、もう生きていけない」... 貧困妄想

42-098 うつ病でみられない症状はどれか。

1. 睡眠障害 (入眠障害、中途覚醒、早朝覚醒がみられる。)
2. 食欲不振
3. 胃腸障害
4. 行為心迫 躁病でみられる。
5. 易刺激性 些細な事でイライラしたり気分が病に似る。

43-096 うつ病患者の訴えで少ないのはどれか。

1. 「頭が締めつけられる」
2. 「決められない」
3. 「いらいらする」
4. 「迷惑をかけている」
5. 「周りが恐ろしい」... 統合失調症でみられる。(妄想気分)

44-098 うつ病に特徴的な症状はどれか。

- 2つ選べ。
1. 感情鈍麻は多い。統合失調症でみられる。
2. 激越症状... 不安、焦躁怒、易刺激性などから急に感情が高ぶるものである。
3. 早朝覚醒
4. 滞続言語 Pick病でみられる
5. 滅裂思考 統合失調症でみられる

45-A-100 うつ病の治療で正しいのはどれか。

1. 重要な事項についての自己決定を促す。は負担が大き、特に初期ではせせめ。
2. 抗うつ薬は三環系薬物が最も広く用いられている。や四環系薬物は副作用が強く、現在はSSRIやSNRIが広く用いられている。
3. 抗うつ薬の副作用を説明する。
4. 症状の改善後には抗うつ薬を速やかに中止する。
5. 電気痙攣療法は効果がない。しばらく続ける(再発予防のため) あり。

感情障害(気分障害)

生涯有病率13~17%と精神障害の中で最も多い。女性>男性
単極性のうつ病が多い。
双極性感情障害は、発症年齢が若く遺伝的要素が強い。
I型:強い躁状態がある
II型:躁状態は軽度

うつ病の特徴

抑うつ気分、朝が不調、意欲低下、食欲低下、思考制止、睡眠障害(入眠困難、中途覚醒、早朝覚醒)

微小妄想

(罪業妄想、貧困妄想、心気妄想)

自殺企図

昏迷

躁病の特徴

爽快感、易怒的、観念奔逸、多弁、多動、行為心迫、不眠、食欲亢進

電気けいれん療法

自殺企図の危険性が高い時や、昏迷時などに用いる。

45-P-098 うつ病でみられる症状はどれか。

2つ選べ。

1. 自閉 : 統合失調症で見られる。
2. 幻視 : センチヤ アルコール依存症、抗Parkinson薬の副作用などで見られる。
3. 妄想 : 微細な妄想(罪業妄想、貧困妄想、心気妄想)が見られる。
4. 昏迷 : 意識は清明だが動けなない状態。話しかけると苦渋の表情を呈する。
5. 途絶 : 統合失調症で見られる。

46-P-98 仮面うつ病で正しいのはどれか。

1. 作話症状が目立つ。 - 認知症で見られる
2. 仮性認知症を呈する。 - 高齢期のうつ病で見られる
3. 仮面様顔貌を呈する。 - Parkinson病で見られる
4. 身体症状が前景にでる。
5. 引きこもり傾向が強い。はみられない。

☞ 仮面うつ病

食欲不振、胃痛などの身体症状が
前景に出るうつ病

☞ 季節性うつ病

日照時間が短くなる冬期に
症状が出現するうつ病
光線療法が有効

47-A-098 うつ病でみられやすい訴えはどれか。

1. 「テレビカメラで見張られている」 : 注意妄想で統合失調症の特徴
2. 「何か恐ろしいことが起こりそうだ」 : 妄想気分
3. 「新しいアイデアが次々と湧いてくる」 : 観念奔逸で躁病の特徴
4. 「自分の考えがみんなに知れ渡っている」 : 思考伝播で統合失調症の特徴
5. 「取り返しのつかない罪を犯してしまった」 : 罪業妄想

☞ 仮面認知症

高齢期のうつ病で、意識低下
思考制止のため認知症の
ように見える状態

48-P-096 気分(感情)障害の特徴について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. うつ病は男性に多い。 女性
2. うつ病の生涯有病率は約 1% である。 13~17%
3. 身体疾患を有する患者でうつ病の有病率が高い。
4. 双極性感情障害はうつ病より遺伝的素因の関与が強い。
5. 双極性感情障害はうつ病より平均初発年齢が高い。 低い。

49-P-100 うつ病への対応として適切なのはどれか。

1. 重要な事柄についての判断を促す。 さす。
2. 休養の重要性について説明する。 特に初期では休養が重要である。
3. 自殺の可能性は話題にしない。 さしなないことを約束する。
4. うつ病の診断は伝えない。 を伝え、病気に対する理解を促す。(治療すれば治ること伝える)
5. 気晴らしを推奨する。 守場は気晴らしは行わない。

50-A-098 双極性障害について正しいのはどれか。

1. 発症率は女性が2倍多い。 αはうつ病である。双極性障害では男女差はない。
2. 気分安定薬が用いられる。 リチウムやカルバマゼピンなどの気分安定薬が用いられる。
3. I型では重度の躁状態がみられる。 II型の躁状態は軽度である。
4. 単極性うつ病より遺伝性素因が少ない。 大きい。
5. 同一人では躁病相の回数はうつ病相の回数より多い。 少ない。